

学年：5年	単元名：15. 帯グラフと円グラフ －割合をグラフに表して調べよう－
-------	---------------------------------------

1. 単元目標：(全8時間)

○円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察する力を養うとともに、統計的な問題解決の方法について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の学習や日常生活に活用しようとしたりする態度を養う。

考判表・目的によって適切なグラフを選択する。

- ・割合のグラフの読み取りができる。
- ・グラフの結果の背景を考えることができる。

知・技・円グラフや帯グラフのかき方を理解する。

- ・円グラフや帯グラフの特徴や使い方がわかる。

2. 指導内容

・

3. 指導のポイント

○割合のグラフ

- ・円グラフと帯グラフの違いをはっきりさせる。
円グラフは、単独で、帯グラフは、いくつかそろえて比較に使う場合が多い。
円グラフは、全体の量を円の大きさで表すことが多い。
- ・割合のグラフをかくときは、帯グラフか円グラフかをしっかり考え、根拠を持ってかかせたい。選択できる子どもをつくるのが大切である。
- ・かき方については、指導を徹底。
- ・身の回りの資料を使うときは、計算に電卓を使うようにする。

○グラフの読み取り

- ・グラフの数値を読むだけでなく、そのグラフから、どんなことが考えられるかを考察させたい。また、なぜそのようになっているか背景を考えさせたい。

4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。
- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○グラフの復習をして、円グラフ・帯グラフについて知ろう。（P82/83/84/85）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>T:今日から割合で表すグラフの勉強をします。 割合で表すグラフは、円グラフと帯グラフです。 今日は、どんなグラフか、わかればいいですよ。 T:では、今までのグラフについて復習をします。 どんなグラフを学習しましたか。→C:棒グラフ・折れ線グラフ・・・・ T:そうですね。書き方は覚えていますか。 C:たて たて よこ よこ 丸かいて どん かっこ かっこ T:そうでしたね。今日はまず、棒グラフの復習します。P82 を見ましょう。 好きな給食のメニュー調べです。表にかいたものをグラフにしました。 (導入)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">好きな給食メニューのグラフを見てどんなことがわかるでしょう。</p> <p>※P83 の記述以外で探すように言う。 C (発表) ※数値の読み取りだけでなく、そこから考えられることも発表させたい。</p>	
<p>1. 問題把握 T:いろいろなことがわかりました。 この中で、2倍とか全体の半分ぐらいとかいう意見が出ています。このように、全体の人数に対する、それぞれのメニューの人数の割合を表したグラフを割合のグラフと言います。割合のグラフには、円グラフ・帯グラフがあります。 P84 を見ましょう。上の方が帯グラフです。下が円グラフです。 T:では、円グラフ。帯グラフのかき方について、わかったことをノートにまとめましょう。 2. 自力解決・学びあい C:かき方の特徴を探す。→班でまとめる。 ※発表</p>	<p>• WB</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり ※発表をまとめる。出てこなかったものは、付け加える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>割合を表すグラフ</p> <p>①帯グラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリは、0 から 100 の数直線。 ・全体を長方形で表す。 ・各部分の割合を直線で区切る。 <p>②円グラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリは、時計の 12 時が「0」一周まわると「100」になる。 ・全体を円で表す。 ・各部分の割合を半径で区切る。 <p>※帯グラフや円グラフは、全体をもとにしたときの各部分の割合を見たり、部分どうしの割合を比べたりするのに便利である。</p> </div>	

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○帯グラフ・円グラフのかき方（P85/86/87）WS①②

1. 表のかき方。
 - ・全体に対する割合の計算は、電卓をつかう。
2. 割合のグラフのかき方
3. 実際にかいてみる。
4. まとめP86下

帯グラフや円グラフのかき方

- ①各部分の割合を百分率でもとめる。
合計が100%にならないときは、割合の一番大きい部分か「その他」を増やしたり減らしたりして合計を100%にする。
- ②ふつう、割合の大きい順に、各部分をそれぞれの百分率に従って区切る。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○割合のグラフを読んだり特徴を見つけよう。（P84/87）

1. P84②
2. P87③④ 教科書の問題をする。
 - ・数値の読み取り
 - ・背景の読み（理由・原因など）

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○もっと詳しく割合のグラフを読み取ろう。（P88/89）

- 問題の解決の方法の振り返り
- P89 2つの帯グラフの比較。

第5・6時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○いかしてみよう（P90 WS③）

- 実際にやってみる。

第7・8時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○たしかめよう 算数の目 （P93/94）